

U 協 近 畿 通 心 ～U協を使い倒しましょう～

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会
近畿事業推進部

【はじめに】

近畿事業推進部の川畑です。先日の大雪凄かったですね。
大阪の中心部では、雪は積もらず大きな影響もなかったんですが、滋賀、京都、兵庫の北部では大雪による交通渋滞も発生し大変でした。
能登半島も地震に加え、この大雪で被害がまた発生しています。心が痛いです。

復旧、生活支援以外に、ボランティアを支援するキャンピングカーなども活動に入っています。多くの方ができることをされています。

私もできることをやっています。

新春企画「大前さんに学ぼう」でも話が出ていた台湾総統選挙は民進党の頼清徳氏が勝ちましたが、民進党は立法院では過半数を維持できなかったですね。今後中国との関係がどうなっていくのか、習近平氏の動向が気になります。台湾有事はあってはいけませんが、頭の体操はしておかなければいけません。

アメリカ大統領選挙は、共和党予備選挙でトランプ氏が2戦2勝でデサンティス氏、ラマスワミ氏は選挙戦から撤退し、ヘイリー氏だけが今のところ対抗馬として残っています。これからどうなっていくのか注目ですね。アメリカはどうなっていくのでしょうか？

年明け、33,193円で始まった日経平均。1月28日には36,984円まで上がりました。凄い上げですね。中国経済が悪くなくて、中国マネーが入っているという話もあります。上海の日常はバブル崩壊後の日本みたいというニュースもあります。

そんな中、今年の春闘は労使ともに賃上げを唱えていますので、物価上昇を上回る賃上げで経済を活性化して欲しいです。

もちろん、そのためには生産性の向上で売上を増やすと同時に、コスト改善も必要ですね。5%を超える賃上げをするという企業のニュースが流れていますね。景気のいい話です。獺祭（旭酒造）が、2021年に従業員の給料を5年で2倍にすると発表し、2022年にはその影響で新入社員の給料を50%近くアップして30万円にしましたね。利益が出ているからできることですね。

そういえば、昭和60年から数年は5%賃上げが続いていましたね。私もその恩恵を受けた一人です。個人金融資産も2,165兆円あり、そのうち1,113兆円は現金ですから、金利が上がればこれも経済活性化の原資になりますね。国は国債の返済負担が増えますので、こちらは頭が痛い問題ですね。

これは日銀の植田総裁の舵取りにかかっていますね。

まだまだ寒い日が続きますが、今月も頑張っていきます。

今月も「U協近畿通心」を愉しんで頂けると嬉しいです。



我がふるさとである、鹿児島県伊佐の田んぼからみた冠雪した霧島連山の韓国岳（からくにだけ）です。
1月の大雪が解けた翌日夕方です。
なんとも素敵な風景です。
早く帰りたくなりました。

【ICT用語豆知識 「エッジAI」ってご存じでしょうか】

エッジAIは、ユーザー（利用者）に最も近い**デバイスにAIを導入し、自動で学習や推論を行います**。AIが末端のデバイスに搭載されていることからエッジAIと呼ばれます。

エッジAIはスマートフォンやカメラ、自動車などの身近なデバイスに搭載されていることもあり、意図しなくても日頃から関わっているのです。

一般的なAIはクラウドAIと呼ばれ、GAF A（Google、Amazon、Facebook、Apple）が展開しているサービスが有名です。

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。岡部達昭先生編】

前回は、第112回「オノマトペの力」（2023.8.15）をご紹介しました。
今回は、第113回「**気になる話し言葉**」（2023.9.15）をご紹介します。

「もっと美味うまいもの喰いてえなあ！」「腹いっぱいでもう食えねーよ」。つい最近、街中で聞こえてきた驚くべき若い女性の会話です。日本語の会話から女言葉が消えて久しく、その変化の激しさには仰天することが多いのです。言葉が変わるのは自然なことと受け入れつつも、言葉を生業としてきた身にとっては、気になり過ぎる言葉がいっぱいあります。

ご賛同いただけるかどうかは分かりませんが、今回はそのうちのいくつかを取り上げます。

聞き難い語尾伸び、ぶつ切り

今の日本語、話し言葉の変化で最も気になるのは、語尾伸び、ぶつ切りという話し癖です。

文例で言いますと、「日本語の一、話し言葉の一、問題を一、考える時に一」というように、助詞の後を伸ばし、そこでぶつぶつ切って話す人が、非常に多いのです。実際には、助詞に限らず、名詞、形容詞、副詞、助動詞なども、容赦なく伸ばして切ります。この傾向が始まったのは、もう半世紀以上前のことです。当時の全学連のアジ演説が始まりだという説、また、第2次世界大戦後の民主化教育で、日教組の一部が始めた、「ね・さ・よ言葉排斥運動」を嚆矢（こうし）とするという説があります。これは男女差別につながる女言葉をなくそうというもので、話の途中に入る「ね」「さ」「よ」を外したのです。外しただけでは間が抜けます。そこに長音を入れて落ち着かせました。それが習慣化して今に続いているというのです。長音を多用するこの癖は話し言葉だけで、書き言葉にはありません。

私がNHK日本語センターにいた30年前、既に、当時の若者たちの語尾伸び、ぶつ切り、それに、共感を求める意味で語尾を軽く上げて疑問形にする、半疑問などが問題になっていました。20人ほどの私のクラスでも、ほぼ全員が語尾伸び、ぶつ切りなどの話し癖を抱えていました。中にただ一人、全く問題のない男子大学生がいました。関西の芦屋出身の彼のスピーチを聴いて、全員が感嘆の声を上げたのをよく覚えています。関西なまりもありませんでした。「小さいころから育ててくれた祖母のお陰だと思えます」と彼は言っていました。

※嚆矢こうし：（昔、中国で、互いに鎗矢かぶらやを放って戦を始めたことから）物事の始まりのこと。

高齢者まで広がった話し癖

かつての若者時代に身につけてしまった話し癖が、矯正されることなく、中高年になった今も続いています。テレビやラジオに登場する、言葉を生業とする受賞作家、役者やタレント、教育者までが、インタビューに答えたり講演をしたりフリートークとなると、堂々と語尾伸び、ぶつ切りで話しているのです。これでは、次世代の子どもたちは、この長音だらけの日本語でしか話せなくなるでしょう。これは日本語に対する裏切りです。

語尾伸ばしを悪者にしてしまいましたが、語尾伸ばしのすべてが悪いわけではありません。思いを込めた表現などで、長音を使うことはあるでしょう。検討すべき課題の一つです。

使えなくなった4つの尊敬語

後輩のアナウンサーたちも含めて、**ほとんど使えなくなった4つの尊敬語**があります。「**くださる**」「**おっしゃる**」「**いらっしゃる**」「**なさる**」です。説明や解説、案内などをしてくださる専門家や先生をご紹介するのに「教えてくれるのは〇〇さんです」と平気で言うアナウンサーが何人もいます。「**教えてください**」と言えないのです。同様に、「さっきも言いました」は「**先ほどもおっしゃいましたが**」。「今度はどこに行くのですか」。「**どちらにいらっしゃるのですか**」。「内覧会はいつするのですか？」「**内覧会はいつなさるのですか？**」この「なさる」を使える人も少なくなりました。「いつされるのですか」という「れる敬語」がほとんどなのです。間違いではありませんが、「なさる」の方が温かく品よく聞こえます。

乱暴になった一人称、二人称

日本語は人称代名詞の豊かさでも知られます。ところがこの数十年で人称代名詞は激減しました。ことに一人称二人称の汚さです。一部お笑い系の男性タレントに顕著にその傾向が見られます。場所柄もわきまえず「俺」「お前」で言い合う彼らの会話の汚さは、テレビやラジオでの露出度が大きいだけに、子どもや一般への悪影響が大いに気になります。「**僕、君、私、あなた**」という本来の一人称、二人称を聞くことは、最近本当に少なくなりました。膨大なパラメーターを抱えて、AIの言語能力は今後も進歩を続けるでしょう。その進歩を見据えながら、私たち人間の言葉力を磨いていくことが大事になってきます。それは**ただ伝えるだけではなく、品のある言葉、情のある言葉を守っていくことだと思えます**。

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。ICTコラム A I 技術の導入とメリット (1/2)】

2023年のビジネス界では、A I（人工知能）が多くの話題を集めました。

特に、Chat GPTに代表される生成A Iが注目を集めており、自社のビジネスにおける活用を模索する企業は多いでしょう。そこで、生成A Iも含めたA I技術について3回連載で解説します。第1回目の今回は、A Iの基礎知識、導入メリットについて解説していきます。

A Iはどのように学習するのか

A Iとは何か、明確な定義はありませんが、**A Iとは「人の知能や知性を人工的に再現したもの」**と言えるでしょう。そして、知能や知性を再現するためには、コンピューターにさまざまなことを学習させる必要があります。その学習方法には、**機械学習とディープラーニングの二つの方法**がありますので、まずはこの二つについて解説していきます。

機械学習とは、データからパターンや知識を自動的に学習する手法です。主な学習アプローチには、データにラベル（正解データ）をつけて学習する「**教師あり学習**」と、ラベルがないデータからパターンを発見する「**教師なし学習**」などがあります。

「**教師あり学習**」は、猫の写真をたくさん与えて「これは猫だ（正解は猫）」という情報を学ばせる方法です。写真の特徴を抽出しそれが猫に関連していることを学ぶことによって、新しい写真に対しても「これは猫だ」と判断する能力を持つようになります。

「**教師なし学習**」はデータが持つ構造や特徴を分析して法則を見つけ出し、グループ分けするので、あるグループは三毛猫が好き、別のグループは子猫が好きといった具体的な傾向を発見することができます。

次に**ディープラーニングとは、物事を認定する特徴をコンピューター自身が探して学習していくものです**。機械学習は原則として特徴を人間が選択するのにに対し、ディープラーニングは自律的に選択する点に大きな違いがあります。

例えば、猫を認定する場合、機械学習は参考にすべき特徴を人間が選択しますが、**ディープラーニングは人間が選択しなくとも、コンピューター自身が判断して学習していきます**。

これには、大量のデータと計算能力を必要としますが、近年はコンピューターの高性能化や、あらゆる情報がデジタル化されることによってデータの入手が容易になったことで急速に進化しました。

A I 導入で何ができるのか

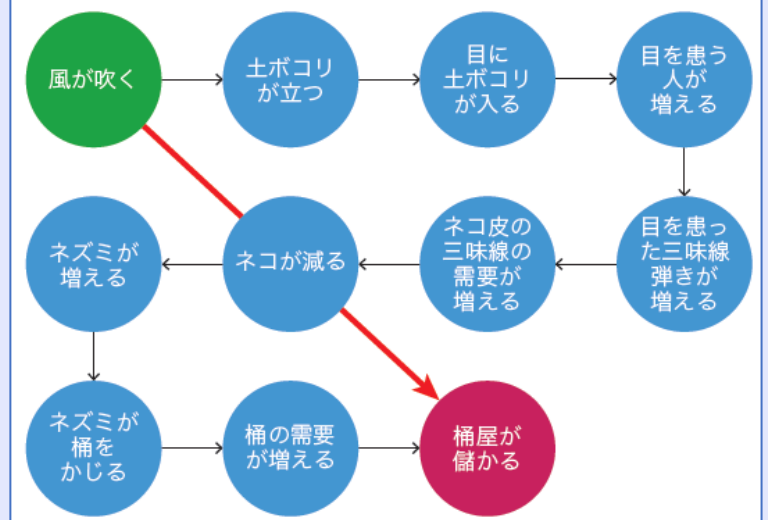
機械学習でもディープラーニングでも、

A Iは膨大なデータを高速かつ効率的に処理し、パターンや傾向を抽出する能力があり、膨大なデータから相関関係や予測モデルを導き出すことができます。そして、大規模で統計的な分析を効率的に行うことが可能になり、現在は、**画像認識や自然言語処理、音声認識などの分野で驚異的な成果を収めていて、自動運転、医療診断、売上・需要予測などのさまざまな応用分野で活用**されています。

例えば、A Iは長い報告書や文書から主要なポイントと要約を自動的に生成したり、手書きのメモやフォームから情報を自動的に抽出し、データベースやシステムに入力して**事務作業の負担を軽減**してくれます。

また、**ビジネスにおいては、売上予測や需要予測、顧客行動の分析などにもA Iは活用**されています。日本の古いことわざである「風が吹けば桶屋が儲かる」は、「一見なんの関係もないようなところから、意外なところに影響が出る」とか、「可能性の低い因果関係を無理矢理つなげてきたこじつけの理論・言いぐさ」などの意味で使われてきました。ところが今や「風が吹く」という情報から想像できる因果関係をA Iが分析し、一気に先読み（図参照）することで儲かるチャンスを見つけることができるような時代になり、

【図：AI時代の「風が吹けば桶屋が儲かる」】



【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。ICTコラム AI技術の導入とメリット（2/2）】

このことわざも従来とは違う意味を示すことになったのです。

例えば、AIで天気や観光者情報、ホームページアクセス数、飲食店サイトの口コミなどを組み合わせて分析することで、自社が飲食店であれば来店人数などを割り出し、売れると予想した料理メニューから食材の仕入れ、適切なパートタイム労働者の人数まで割り出すことが可能になっています。

そして、この分析結果を食品ロスの防止や従業員の適正配置、お客さまのニーズに合ったニュー開発などに活用している企業があります。

ビジネスでAIを導入した際のメリット

IT技術の発達により、10～20年後には、日本の労働人口の半数近くが人工知能やロボットなどで代替が可能と言われていますが、その反面、人間にしかできない仕事も増えるとも予想されています。

そのため、「AIはやがて人間の能力を超え、自分たちの仕事を奪ってしまう」と将来を安易に悲観する人もいますが、逆にAIを有効に活用することで、会社の生産性や競争力を向上させていこうと前向きに考える人もいます。このように前向きに考えてもらうため、最後にAI技術を導入した際のメリットを解説します。

①カスタマーサービスの向上

AIをカスタマーサービスに組み込むことで、顧客の問い合わせや要望に迅速かつ正確に応答することに活用できます。これにより**電話の待機時間を短縮し、初期の問い合わせ処理や簡単なトラブルシューティングを可能**にしています。

②商品・サービスの提供

AIは顧客のデータや行動履歴を分析し、**個別のニーズや好みに合わせた商品やサービスの提案、推奨**を行えます。例えば、AIが組み込まれたショッピングサイトは分析結果に合わせて、ユーザーへ関連商品や類似商品をAIで推薦することができます。

③事務業務などの効率化

AIを業務プロセスに組み込むことで、**ルーチン業務の自動化や情報の取得・整理が可能**になります。例えば、会議やセミナーの音声をリアルタイムでテキストに変換するAIを利用することで議事録の作成時間が大幅に削減されます。

また、製造現場の外観検査などに活用すれば、検査時間の削減に大きく寄与します。

④新たなビジネスチャンスの発掘

AIは顧客の声や要望を把握し、市場のトレンドや需要の変化をリアルタイムで把握できます。そのため、**顧客の購入履歴や対話履歴を基に、次に提案すべき商品やサービスを自動的に予測してくれます**。

⑤製品やサービスの改善と新需要発見

AIチャットボットなどを活用すると、**顧客とのリアルタイムな対話やフィードバックの収集が可能**です。

例えば、AIが問題の複雑さや顧客の感情を評価し、必要に応じて高度なサポートや専門家にフィードバックし、顧客需要に対し迅速な対応が可能となります。

⑥経営と業務の意思決定支援と予測分析

AIは膨大なデータを処理しながら、さまざまな市場のシナリオやビジネス戦略をシミュレーションし、それに基づいて**最も効果的な戦略を意思決定することが可能**となります。

ここまででAI技術の基礎知識とAI導入で何ができるか、ビジネスでAIを導入した際のメリットを説明してきました。ぜひAIに関心を持ち、有効に活用してください。

【お役立ち情報：大前さんに学ぼうを開催しました。】

毎年お馴染みになってきました新春特別企画大前さんに学ぼう。

今回は「**世界の潮流2023年～2つの軍事衝突がもたらす世界経済への影響～**」を1月10日(水)に開催しました。

今回も、参加者約1,600名とたくさんの方からお申し込みを頂きました。ありがとうございました。2017年にこの大前さんに学ぼうを始めて13回目になります。世の中のお役に立ちたいと厳しい財務状況のなかでも無料にて開催しています。毎回たくさんの方に協会や大前さんのお考えを知ってもらっていますが、会員様の減少が続く中でこのまま無料で続けることも難しくなっています。

ユーザ協会の活動にご賛同いただける方の、ご入会で支えて頂きたいと願っています。これをご縁にご賛同頂けます方は入会をご検討ください。詳しくは各支部のホームページをご覧ください。

開催当日は、このセミナーでお馴染みのマインドシーズSGの丹羽さんのナビゲーション付きで視聴して頂きました。アンケート、レビューも好評で、これからの運営の参考になる貴重なご意見もたくさん頂くことができました。

セミナーのサマリーをご紹介します。みなさまの事業の参考になれば幸いです。

<サマリー> 2023年の総括

マッドマンによって世界情勢が混乱を極めた、日本経済が明らかに凋落した、1年となった世界情勢

- 世界は独裁化した“マッドマン”によって混乱を極めており **右傾化が止まらなくなっている**
- 22年2月に勃発したウクライナ戦争は長期泥沼化の様相を呈しており、**停戦には“ミンスク合意”にまで時計の針を戻すしかない**
- 23年10月には、イスラム組織ハマスによるイスラエルへの攻撃を受け、イスラエルがガザ地区へ侵攻を開始、今後の展開は2つ考えられる
 - ①**第三次世界大戦につながる破滅の道**
 - ②**ネタニヤフ首相の失脚と「ガザ暫定自治政府の設立」**
- 欧米諸国は複雑な対立構造が絡み合った、“**2つの軍事衝突**”への対応を巡って内部で対立・迷走している
- 一方、高い経済成長を背景に“**グローバルサウス**”が台頭しており、**先進国中心の国際秩序に対して一定の距離を取り始めている**
- 世界は、欧米先進国の価値観とは異なる国家・地域の増加によって紛争・戦争が生じやすくなっているため、**新たな国際秩序が求められる**

世界経済

- 世界経済はコロナ禍・ウクライナ戦争・インフレから回復を目指すものの、成長率が下振れして **リセッション入りする可能性がある**
- 成長の阻害要因として、**過剰債務、根強いインフレ、食料・エネルギー価格の高騰、中国経済の減速、気候変動**が挙げられる
- 主要国では利上げは終了し、来年から利下げに転じるとの見方が強まるなか、**日本はようやく緩和政策の転換点を迎つつある**
- 日本は**GDPでドイツに抜かれて第4位へ転落、一人当たりGDPではイタリアに抜かれてG7で最下位、韓国・台湾にキャッチアップされた**
- 3年目を迎える**岸田政権の業績は「安保3文書の改訂」、あとの政策はすべて迷走状態に陥るなかで、政治資金問題が表面化**
- **ChatGPTの登場によって2023年はAI元年となった。到来した第4の波（AI時代）が、凋落する日本にさらに追い打ちをかけている**

2024年の見通し

- **世界**:世界が右傾化するなか、**主要国の選挙動向に注目が集まる**
特に**台湾総統選挙や米国大統領は日本への影響が大きい**
- **日本**:**自民党の解党的な出直しが必要**。そのうえで、教育、地方自治、対米関係見直し+真の仲間作り外交、といった**大きな課題に取り組むべき**。
解決できる具体的なテーマとしては「ロシアとの付き合い方を考える」、「真の観光立国を目指す」ことが挙げられる

【お役立ち情報：2024年度は全国でICTセミナー、ICT講座を充実します。】

先月号で2024年にやってみたいことをご紹介します。その中で企業様のICT利活用推進支援として

- ・大前さんに学ぼう（7月、1月）の開催
- ・他団体にはない魅力的な全国型オンライン講座の開発、開催
- ・全国組織という当協会ならではのセミナーの充実、ブラッシュアップ を上げました。

より皆さまの事業に役立つ全国型ICTセミナー・ICT講座を、オンラインでたくさんの方に利用して頂きたいと新年度に向け本部、全国11ブロックの事業推進部長と鋭意検討を進めています。その内容を少しご紹介します。

これまで、全国の組織で独自に開催していた全国相乗りICTセミナーのリソースを再編成して、協会全体で年度6回開催することにしました。

これまで以上に皆様の事業にお役にたてるセミナーとして協会全体で企画からフォローまで一元的に実施していきます。

講師についても全国の人脈、経験等を結集しますのでこれまで以上にいいセミナーが開催できると考えています。

また、ICT講座についてもこれまで東京、東海、近畿で合同開催していた経営者のための〇〇講座を充実・発展させ、全国でご利用できるようにします。

こちらにもICT先端に行く企業とコラボレーションも視野にいて、よりお役に立つものを企画しています。詳細は、募集段階で都道府県の支部ホームページにてご案内します。

スケジュールは今のところ、こんな感じで進めています。

皆さまの次年度事業計画策定の参考になれば、幸甚に存じます。

ICTセミナー、講座一覧

ICTセミナー、講座		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
セミナー	1 企画中		☆										
	2 大前さんに〇〇を学ぼう				☆								
	3 企画中						☆						
	4 企画中								☆				
	5 大前さんに世界の潮流2024を学ぼう（仮タイトル）										☆		
	6 企画中												☆
講座	1 サイバーセキュリティ対策講座			□				□				□	
	2 経営者のためのZoom体験講座	オンデマンド化											
	3 経営者のためのDXリテラシー講座					□	オンデマンド化						
	4 経営者のためのICTリテラシー講座									□	オンデマンド化		
	5 経営者のための情報セキュリティ対策講座	□	オンデマンド化										
	6 新企画												

<原稿大募集します！>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。いつでも待ってま～す。写真等も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp（川畑）までファイル（A4）を送ってください。



主催：日本電信電話ユーザ協会 本部、東京・東海・近畿事業推進部
共催：東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社

ユーザ協会会員様は

参加費無料

【オンライン】2024サイバーセキュリティ対策講座

2024年2月15日(木) 13:30 ▶ 16:00

近年、新型コロナウイルスの影響でより世界的にデジタル化が進んだことで、サイバー攻撃の脅威はかつてないほど高まっています。また企業においては、外部からの攻撃だけでなく、内部不正による情報漏洩が多発しており、社員の意識改革はもとより、企業の徹底した情報漏洩対策が求められています。

本講座では、様々な分野のプロフェッショナルから、対策のノウハウ、サイバー犯罪等の情勢、内部不正による情報漏洩対策、万一被害を受けてしまった場合の備え、などを学んで頂きます。

経営者・管理者の皆様の参加は勿論、社内研修の代行としてもご活用ください！

【カリキュラム】 ※都合により、内容が変更する場合があります。

【第1部】サイバー空間をめぐる脅威の情勢と対策、内部不正による情報漏洩対策【50分】

〔警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 担当官〕

- ◆最新情報の「令和5年下期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢」から、事業継続に支障を及ぼしかねないランサムウェア攻撃の現在の特徴とセキュリティ対策について、ご理解頂きます。
- ◆昨今、内部不正による情報漏洩が後を絶ちません。「内部不正とは何か」「何が原因で発生したのか」「どのように対策すべきだったのか」などを知ることにより、自社の基本方針、コーポレートガバナンスを構築に役立てる内容をご理解頂きます。

【第2部】企業におけるサイバー脅威・事故に対する適切な対策とは！【30分】

〔東京海上日動火災保険株式会社〕

※詳細内容は検討中

【第3部】基本から再確認！！2024情報セキュリティ講座【60分】

～今日からすぐに出来るセキュリティ対策の基礎知識を習得！～

〔ユーザ協会 近畿事業推進部長 川畑 文雄 氏〕

- ◆インシデント事例と原因の本質について掘り下げ、その対策を体系的に分かり易く説明します。従業員研修にも使える講座です。専門知識がなくても安心して参加できます。
- ◆万一被害にあった場合の対処方法(初期対応・警察への連絡・専門家支援など)について、どうしたらいいのか具体的な行動を説明します。

(注)1.本セミナーの録音・録画は禁止とさせていただきます。ご協力の程お願いします。
2.本セミナーの内容は、若干変更となる場合がありますので、ご容赦ください。

定員 300名

受講料 5,500円(税込) ユーザ協会会員:無料

お申し込み方法

2月13日(火) までに 右 QRコード または 以下申込サイト
からお申し込みください。

<https://coubic.com/jtua-kinki/3071323>



聴講方法

「Zoomウェビナー」にてライブ配信します。URL等詳細は、お申込み直後予約確認メールにてお申込みメールアドレス宛にご案内致します。



ユーザ協会では、ICT活用事例や電話応対教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会



【問い合わせ先】(公財)日本電信電話ユーザ協会 東京支部 ☎ 03-6275-0831 E-Mail: ut-tokyo@jtua.or.jp

プライバシーポリシー(プライバシーに関する公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の確約)

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会は、常日頃より関係者の情報を厳正に管理し、プライバシー保護に努めています。ユーザ協会は、関係者様の個人情報は当協会の定款に基づく事業目的以外には、使用致しません。なお、頂いたメールアドレス宛に、今後協会の各種情報を送付させていただきます。